

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた
旅先からの手紙

父ちゃんから
の手紙 ⑦

Letter from
Dad



林太郎へ

ドンドン！ ドンドン！ バス
の中に大きな音が響きます。バス
はゆっくりと速度を落とし、たん
ぽのわきに止まります。お客が何
人かバスから降りると、今度はド
ン！ という大きな音を合図にバ
スは急発進。エンジンを吹かし、バ
スは山道をぐんぐんと進みます。
父ちゃんは今日、ネパールのカト
マンズという街から、郊外の村行
きのバスに乗りました。

ネパールのバスはにぎやかで
す。古いエンジンの音、お客たちの
話し声、ときには一緒に乗ってい
るニワトリがコッコッ！ として、
なんといつても乗っている人が車
内の壁をたたく音がすごい。バス
を止めたいときには2回ドンド
ン！ 発車してもよいときは1回
ドン！ とたたくのです。ここ
にはバス停がないのです。とても
びっくりするけれど、便利ですね。

公文健太郎（くもん けんたろう）

写真家。1981年生まれ。国内だけでなく、ネパールなど海外の被写体をテーマに作品を撮り続け、
写真集やエッセイ、写真展などで発表している。2児の父。http://www.k-kumon.net/